



北陸の多彩な伝統産業を
これからもずっと
受け継いでいってほしい。




さまざまな伝統産業を育ててきた北陸は、
日本の文化の一端を背負っていると思います。



「地域」という視点を大切に未来を考える。この流れはますます強くなっていくのではないのでしょうか。それはエネルギーも同じです。北陸に根ざした独自のエネルギーのあり方を考えてもよいと思いますし、賛成・反対だけではなく、どうすればよりよい形にできるのかを模索することが必要だと考えています。それが、地域とその未来を考えるということだと思っております。

Web限定
トーク
公開中！

石坂さんのさらなる魅力は
えるふらざNet
www.elfplaza.jp



地域の人たちとともに、この町の伝統を未来へつないでいきたいんです。

にい やま なお ひろ
新山直広さん(TSUGI代表) × 地場伝統産業

漆器や眼鏡などの産業が古くから栄えたものづくりの町、福井県鯖江市河和田地区。この町に、大阪から移住した6人の若者を中心に地場産業を盛り立てている企業TSUGI(ツギ)がある。「この社名には、“次”の世代が伝統を“継ぎ”、新しい発想や視点を“注ぐ”ことで、新たな関係を“接ぐ”という思いが込められています」。そう語るのは、代表の新山直広さん。「この地域にはよいものをつくる技術があります。それを受け継いでいくために、現代にフィットした商品やその魅力の伝え方、売り方が必要なのではないかと考えたんです」。地域の企業や商品のロゴマーク、パッケージや販促ツールのデザイン制作を担うだけでなく、流通のノウハウを学ぶために立ち上げた自社アクセサリーブランドの

展開、地場産業振興イベントの企画・運営、地域の職人に向けた販売戦略の講義など、その活動は多岐にわたっている。

新山さんが河和田地区と出会ったのは大学時代。地区で行われているイベント、河和田アートキャンプに参加したことだった。「人生を変える大きな体験でした。これからの地域のあり方や地域の産業の未来を、ここで学びたいと思ったんです」。大学を卒業して河和田地区に移住したのが2009年。新山さんに続くように大学の仲間が次々と移住し、前身となるサークル活動を経て2015年4月に合同会社ツギが発足した。

今では河和田地区の人口の約1%が移住者だという。若い移住者が増えるに従い、地域の意識も少しずつ変わってきたのではないかと新山さん



は感じている。「未来に向けて主体的に考え、行動する地元の方々が増えてきました。ツギの目標は『創造的な産地をつくること』。地元の方々と一緒に、この町のものづくりを未来につなげていきたいと思っています」。

「今が人生でいちばん楽しい」と笑顔で語る新山さん。その情熱が地域の「次」の時代を拓いていく。



合同会社ツギ
代表・デザインディレクター
新山直広さん
福井県鯖江市河和田町19-8

クリエイティブカンパニーTSUGI代表。2013年TSUGIを結成、2015年法人化。眼鏡の材料や曲げ加工技術を活かして立ち上げたアクセサリーブランド「Sur」の展開、ものづくり体験型マーケット「RENEW」の企画・運営など、多彩な活動に取り組む。第2回目となる今年の「RENEW」は10月15日(土)・16日(日)に鯖江市河和田地区で開催予定。



俳優・タレント
石坂浩二さん

1941年東京都生まれ。慶応義塾大学在学中にテレビドラマでデビュー、卒業後劇団四季に入団。俳優として数々のドラマ・映画・CMに出演しているほか、作家・司会者・ナレーター・クイズ番組解答者など幅広い分野で活躍している。主演となる倉本聰氏脚本のテレビドラマ「やすらぎの郷」が2017年春放映予定。